

豊岡市立小中学校適正規模・適正配置計画

八代小学校区 住民向け説明会 意見等

- 開催日 2022年8月31日(水) 19:30~20:50
- 会場 八代地区コミュニティセンター 大和室
- 出席者 参加者 42名  
教育委員会 7名
- 意見交換(要旨)

意見・質問	回答
<p>小規模特認校制度を導入している学校で、その校区の児童が転出された例は、どのくらいあるのか。</p>	<p>制度導入後に小規模すぎる学校に通うのを避けるために転出したという事例や件数について、具体的に公開されているデータはないため、お示しできるものはない。</p>
<p>小規模特認校について、特別な予算措置はないということだが、例えば指導者の報酬など、発生する様々な費用を他ではどのように負担されているのかお聞きしたい。例えば、一戸当たり、年間でいくらという方法で集めるのか。他に方法があるのかどうかお聞きしたい。</p>	<p>予算の部分については、基本的に市が各学校に配分している予算以上のことについては難しい。 それ以外の部分について、どう予算を捻出されるのかも含めて、地域で考えていただきたい。 地域の方によるボランティアという方法もあるが、外部から講師を呼ぶと当然経費もかかる。 学校に配分された予算の中で使える部分もあるが、すべてが賄えるものではないため、地域からもご協力いただくことになる。 その方法、資金の集め方については、市の方からこうしてくださいと言えるものではない。</p>
<p>複式学級の話だが、教員配置の実情はどのようになっているのか。</p>	<p>今、八代小は1・2年、3・4年、5・6年が複式学級である。 複式学級の教員の数については、そうなった時は、県から1人が加配される。専科の先生を合わせて、計5人で教えることになる。すべての単学級に1人ずつ加配をつけることができないのが実情である。八代小では、専科の先生を使って、5・6年については、本来複式だが、それぞれ担任をつけて活用している。</p>

意見・質問	回 答
<p>コミュニケーションも大事だが、子どもは基礎学力がなければならない。基礎学力の方は、八代小の児童は十分優秀だと思っている。聞くところによると、大規模のところは、基礎学力が全然ついていないとのこと。コミュニケーションよりも基礎学力が大事だと思う。</p>	<p>一人一人にきめ細かな指導の中で、基礎学力をつけていくことも大事だが、今、学習指導要領の中で国の求めている力としては、基礎学力に加えてコミュニケーション能力や、人と関わって表現をしていく力が大事になってくる。そういった部分の力をつけていきたいと考えている。</p>
<p>小規模特認校については、地区の方からの協力が必要という説明だが、教育委員会からは、100%地区に任せるといふ言い方に聞こえている。</p> <p>小規模特認校導入に向けて、教育委員会としては何をするのか。</p>	<p>小規模特認校については、地域が制度導入を主導し、導入後も学校教育活動を全面的に支える取組が必要ということであり、地区の方の協力が必要不可欠である。</p> <p>地区の方で、こういった取組を考えているのか、実施計画をまず作ってもらい、その中で、市の方も協力をさせていただくことになる。地区任せで市は関わらないということではない。ただ、予算については、決められており、その中で工夫していくこととなる。</p>
<p>実際、小規模特認校になって、校区外から八代小へ通えるようになった場合、現時点で具体的な利用者数を把握されているのか教えてほしい。</p> <p>毎年毎年、子どもの数を注視していく必要がある。これは提案でもある。</p>	<p>どの程度子どもが集まるか、現時点では不明である。</p> <p>他の自治体では、複式学級になりそのような学年について、定員を設けて募集をされている。仮に八代小でとなると、どの学年も満遍なく募集という形になる。</p> <p>それだけの子どもが集まるのか、今後、こういった取組をするのかも含めて検討する必要がある。</p>
<p>学校行事は大事で、学年を超えて、学校行事を乗り越えて大きくなる。学校行事をするのに全校児童が少ないとなった時、小規模特認校になった場合に、人数が少ないから、これはできない、あれはできないではなく、子ども主体で、例えば、他の小学校と合同でできたりすると、知り合いができ、中学校に上がった時に、知っているお友達が増える。子どもたちも心強いと思う。その辺も詳しく、学校行事のことも含めて考えてほしい。</p>	<p>他の校区との交流については、現在、日高小、静修小と小小連携という取組で実施している。</p> <p>小規模特認校導入後、どれだけ子どもが集まるかわからないが、引き続きそういった取組も必要である。課題として検討していく。</p>

意見・質問	回 答
<p>西気小と清滝小が一緒になったが、メリットはあったのか。困ったことはあったのか。</p>	<p>西気小では、当時、運動会などの地区行事について、課題があったと聞いている。</p> <p>最近では、五荘小と奈佐小、港東小と港西小が統合し、直近では、今年4月に中竹野小、竹野南小が竹野小と統合している。</p> <p>竹野小では、5月にアンケートを実施したが、全体としては、統合して良かったという意見が多かった。子どもたちに聞いても、これまでできなかった遊びが人数が増えてできるようになったとか、あるいは、気の合う友だちができたなど、前向きな意見が多い。保護者の方からも、子どもが生き生きと楽しそうに通っているとの声もある。</p> <p>児童数が増えたことにより、子どもたちにこれまでよりは先生が目が行き届きにくくなるのでは、という心配の声はあるが、今時点では大きな問題は生じていない。</p>
<p>これまで、八代小の先生からは、子どもたちは学力的には、日高東中学校に上がっても全然恥ずかしくないですよ、と言われていた。</p> <p>複式学級が困ったような言われ方をするが、少ない人数を1人の先生で受け持つのと、大勢の人数を1人で受け持つのとでは、大きな違いがあるのか。</p>	<p>先ほどの基礎学力の話もそうだが、人数が少なくて、一人一人に関わる時間が多いとなると、きめ細かな指導は可能である。</p> <p>ただ、基礎学力、点数で評価できるところも大事だが、点数で評価できないところ、コミュニケーション、友だちと協働するところ、そういったところが今、重要視されてきている。</p> <p>そのような中では、やはり、ある程度の人数がいることが必要ではないかということで、学校再編の話になっている。</p>

意見・質問	回 答
<p>今、豊岡市が試されている時だと思う。兵庫県のこんなところで、面白い学校ができたなというふうになるのではないか。その方向で持っていってもらえたら嬉しいと思う。</p> <p>40年前になるが、八代保育園がなくなりかけた時に、こうして集まったのは、お母さんたちだけであった。しかし、その時、役場に相談に行ったところ、当時の住民課長がしっかりと対応してくれた。定年後、八代保育園のことが一番疲れたと漏らされていたようだ。後日、その方からは『よくやられました』と手紙をいただいた。</p> <p>今は、他の地区から八代保育園にたくさんのお園児が来ているという状態である。だから、前向きにこの問題を捉えていってほしい。</p>	<p>(意見として参考にさせていただく)</p>
<p>大勢の中で子どもが活動する、そうすることで、コミュニケーション能力が高まっていくという考えに対して、疑問がある。</p> <p>私は、13年ほど地区で子どもを遊ばせていた。学校は規則の中で生活しているが、山では、子どもの顔色が全然違う。もちろん、喧嘩もするし、不具合もある。見たこともない顔で遊んでいることもある。子どもたちは小学校6年間で色々なことを学ぶ。その中で個人が輝いていく道を見つけるかどうか。そこが小学校の教育のポイントだと思う。目覚め、気づきは、その子にしかできない。大人たちがその子に接した時に、どんなヒントを与えていくか。押し付けることではない。小学校の期間は極めて大切な期間だと思う。往々にして、僕はダメなんじゃないかと思ってしまう。子どもの将来が輝くために、私たちが、今、子どもたちとどう接するか。お互いにどう感じ合うのか。そういった取組が地域でできれば素晴らしい。もちろん、親御さんたちと、家庭</p>	<p>(意見として参考にさせていただく)</p>

意見・質問	回 答
<p>が基本だが、その上に立って、子どもたちが少しずつ、目覚めた時に、子どもが如何に気づいて、自分で発展するか。それは、色々な経験、色々な人たちと交流することで培われる。大勢の中で、同級生が50人、二クラスいるからといって、そういうことで個性的な子どもが育っていくのか。私は逆の可能性を感じている。だから、八代地区のような、自然に恵まれた小規模な人間の少ない生活地域の中で、子どもが気づくことがたくさんある。大勢の中で自分をしっかり見つめて、気づいていくことは、どちらかと言うと難しい。自己発見していく機会を与える。そのことに地域、親がどれだけ関わっていくか。そういうものを、もし、小規模特認校で、八代でやっていこうということになれば、協力していく。子どもたちと向き合って、本当に子どもが自分の素晴らしいところを見出し、発見し、自然の中で何か気づき、自分の道を発見し、歩いていく。それが小学校の在り方だと思う。</p> <p>豊岡市広しといえども、統合にちょっと待ってください、と言ったのは、八代だけだ。八代には、歴史的にそういう風土がある。何とか学校が育ててくれるだろう、大勢の中に放り込んでおいたら、競争して負けないような子になってくれるだろう、といった発想で子どもは育てたくない。</p> <p>そういう意味で、ぜひ、小規模特認校を作ってほしいという熱気ある、熱心な人が何人かいる。PTAなどは元気を出しているようなので、一緒になってどんな小規模特認校ができるか考えていきたい。私は私なりに意見は持っている。みんなで知恵を出し合って、1年、2年苦勞して頑張って、何とかスタート切りましょう、というのが私の意見と要望である。</p>	
<p>5年前に八代地域に魅力を感じて移住を決断し住んでいる。その時、地域の</p>	<p>(意見として参考にさせていただく)</p>

意見・質問	回 答
<p>方全員を知った訳ではないが、最初に触れた方には、大人の在り方としての魅力があり、正直、格好よかった。子どもたちと一緒にあって、押し付けるのではなく、子どもたちの可能性を伸ばしてあげたいという純粋な気持ちで接していた。時には叱ることもあったが、ほとんど見守るということに徹していた姿を見て、このような姿に将来なりたいたいと思った。元気で伸び伸びとした、異学年交流や、学び合いの姿を見た時に、この地域は間違いないと思った。全てを知った訳ではないが、その後触れさせてもらった方々にも、やはりこの地域は凄いと思う連続で、この地域で子育てをすることを決断して良かったなというのが正直な思いだ。</p> <p>ただ、この統合の話になった時に凄く勿体ないと思った。正直、生まれ故郷でもないし、それほど歴史的な愛着はなかったが、今の大変動の時代、これからの時代を力強く生きていく子どもを育てる上でも、この八代地域に可能性を感じている。小規模特認校という一つの選択肢が出た時に、突破口というか、可能性を大いに次の時代に寄与させるために、生かすためにここに全力で取り組んでいる。そもそも児童数が多いか少ないかで議論が始まっている。このことも大事なポイントではあるが、根本的には、そこではないと思う。教育の質の問題であり、アップデート、変換が必要と考えている。日高小に行っただけからといって、先ほどの目に見える基礎学力以外の力がどれだけ養われるのか。この力というのはとても幅が広い。これを私なりに捉えると、自分の可能性を信じられるかどうかの力だ。私たちは学びの中で学力やコミュニケーション能力など、色々なツールや武器を身につけてきた。結局、生きる上で大事な部分というのは、その力を使えるかどうかである。持っているだ</p>	

意見・質問	回 答
<p>けでは意味がない。その使えるかどうかを最終的に決めていくのは、自分にはできる力があると、自分を信じられる力だ。これが大きな決定をしていく力になる。これを身につけさせたいと思う。それは、幼児教育から始まっている。6歳までの親や先生からの言葉掛けで自己肯定感が決まる。幼、小、中、特に小学校までに、その間に、地域の大人が、先生が、親がどういう言葉を掛けてきたか、どういう姿を見せてきたか、地域に住んでいる子ども一人一人を我が子のように見守ってサポートし育ててきたか、これによって子どもは自分で自信をつけられるかどうか変わってくる。</p> <p>小規模特認校の話については、色々な不安要素、心配な部分が出てくる。出来る限り計画は立てるが、先のことはわからない。結局はどうしたいのか。こうなったらいいのではなく、どうしたいのかが大事だ。</p> <p>今、八代地区外から入ってきた一代表者として言葉を発しているが、皆さんと一緒にこの八代地域をどうしたいのか、大きく言えば、それは、日本のこれからの建直しである。そのために、この八代地域の持っている力をフルに活用して、地域一体となって未来ある子どもを育てていきたい。そのために結束しなければ、この制度を活用したとしても、実現は無理だと思う。私はまだここに住んで5年だが、この5年の中で十分地域の皆さんが持つ可能性を感じさせてもらってきた。もちろん自分自身、若者の代表として、先頭を切って走るつもりだが、皆さんの力をお借りしこれに挑戦したいと思っている。それを最後にお伝えしたかった。</p>	

## ■ アンケートでの意見（全件分）

- 既に小規模特認校になった学校で、地元から転校した人数を教えてください。
- 現在は小学生が少なくて、運動では毎日同じ様なことばかりで、限定されていると聞いています。小規模特認校となり、子どもが増えてくれば良いと思います。
- 八代地域が存続するため、小学校の存続が第1条件だと思います。益々地域が活性するように協力したいと思います。
- ぜひ小規模特認校にしてほしい。
- 一定程度は協力するつもりでいたが、本日の説明会で精一杯協力すべきことがわかった。
- とにかく、早く、小規模特認校にすることを決定し、前に進んでほしい。  
特色を何にするか。そのためにはどれだけの予算がいるのか。それが、八代小学校が保有する予算に見合うのか？ どれだけ足りないのか？  
2年後に向けて、募集（市民に周知）、PRを今からでもしないとイケないと思う。
- 人間は自然から離れていっている。自然界の一部である人間、子どもを自然界から学ばせることは、今一番大事なことだと思います。
- 説明が小規模特認校を作り上げていくのは大変ですよと言うようなやり方であった。
- 地域が協力して小規模特認校に向けて素晴らしいことになる様に。
- 豊かな自然とあたたかい地域の方がたくさんいる八代で子育てしていきたいです。
- 地域の思いをみんなで作り上げたい。どう作り上げていくか行政と協力を共にしてほしい。子どもたちのために教育をどうすればいいのか一緒に考えてほしい。八代の熱い思いを受けとめてください。
- 熱い八代地区の住民が多いです。小規模特認校にして八代の未来を明るくしましょう。
- 豊岡初の小規模特認校を地域の方もPTAの方も教育委員会の方も前向きに進め、本当の子どもたちの居場所を大人が作らなければと思います。
- 子どもをお持ちの保護者の考えが一番であるが、子どもが大人になったとき、自立して自主的に生きる力とは何かを基本に、小学校でどう育てるかが大事である。保護者、祖父母は、大人数の中で育ってきているが、その中で気づかず無意識の中で身につけたものがあるが、それが小規模特認校で可能か十分考えてみる必要もある。
- いろいろな選択があっても良いのではないか。
- 小規模特認校が認められて実質的に開始した後も人数が減っても続けていけるよう教育委員会も協力してほしい。



- 一人の地区住民として小学校が存続してほしいが、小規模特認校の維持が難しく断念した場合、合併というより吸収となると思う。その場合、大きな不利が生じないか不安です。
- 通学については保護者送迎ならば八代保育園児が八代小学校に入れればいいのですが。  
小規模特認校に来てくれる子どもの数を見積もることは必要なのではないですか。
- 特色ある教育課程づくりがむずかしい。
- もっと話し合いを重ねたい。どちらになっても不安です。どうしていくか、解決策など見えてこない。一般的なデータを並べ精神論ではやっていけない。